キッズ ピーチ16

《取扱説明書》

このたびは本品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本品を正しくご使用いただくため、お使いになる前にこの説明書をよくお読み下さい。
お読みになった後は必ず保管して下さい。なお、組み立ての際は
必ず大人の方が行ってください。お子様による作業は厳禁です。

⚠ 注意事項

- ●使用にあたっては各固定の箇所がしっかり固定されているか確かめてください。しっかり固定されていない状態でご使用になると、事故につながる可能性がありますので、くれぐれも再確認してください。
- ●使用後についても、各箇所に異常がないか確認してください。もし異常がみられる場合は、使用をやめて当CSセンター「お客様窓口」にご相談ください。
- ●車体はいつもきれいにしてください。またサビ止めを定期的に行ってください。（各部品の多くは素材に鉄を使用しております）接続部、ネジ部や水溜りができやすい部分については特に注意してください。また、発生したサビについてはサビ落としで取り除き、サビ止めを行うようにしてください。
- ●マンホールのフタ等の滑りやすい路面での走行はおやめください。タイヤが滑り危険です。
- ●夜間の無灯火は禁止です。

組み立て方法

■各ネジ類が入っているかご確認ください。
（本体にすでに仮止めされている場合があります）

●組立ての際は必ず両手で、ゆっくり行ってください。
●手や衣服など挟まないよう充分にご注意ください。
●服装について
車輪やギアに巻き込まれやすい服装で行わないでください。ズボンの裾はズボンバンド等で止めると汚れやチェーンの巻き込み、ギアへの引っ掛かりを防ぐ事ができます。また、ケガを防ぐために軍手を着用してください。

【カゴ用】

カゴ底面用ネジ（短）×２

カゴ背面用ネジ（長）×２

ナット×２

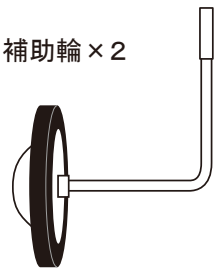
ワッシャー（小）×６

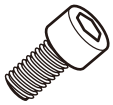
【車輪用】

ハブキャップ×４

【補助輪用】

補助輪×２





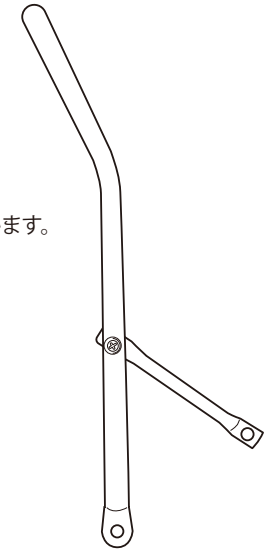
ボルト×２

スプリングワッシャー×２

ワッシャー（大）×２

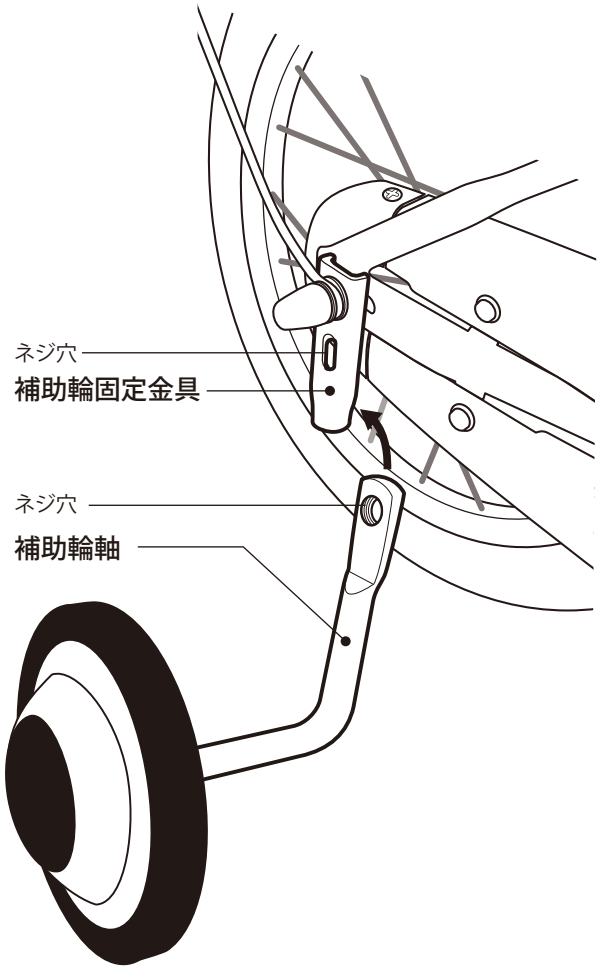
【手押しハンドル】

※取付用ネジは
自転車本体についています。

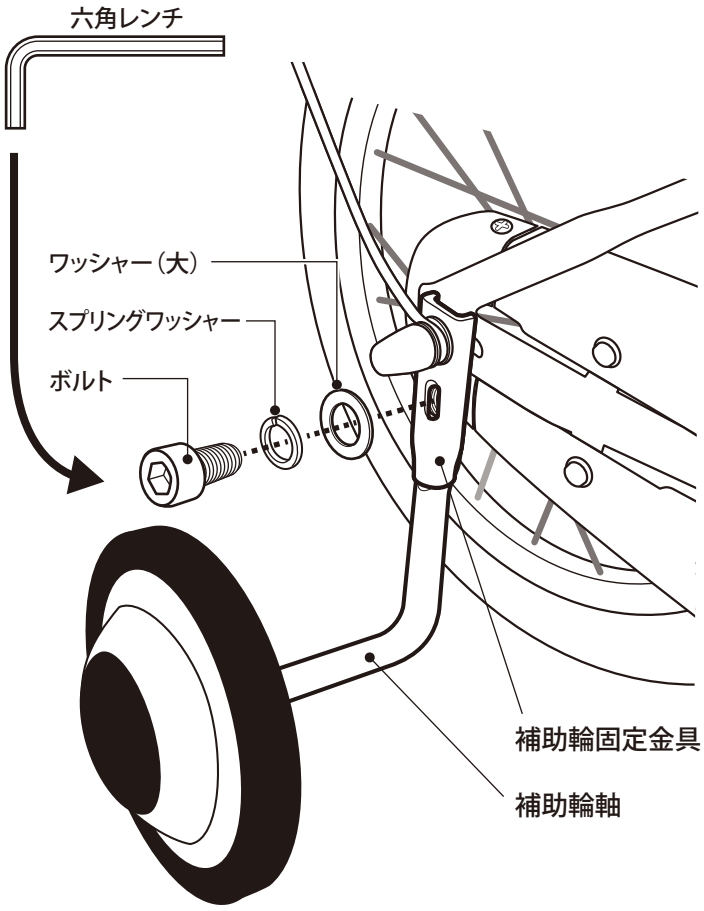


1 補助輪の取り付け

1-1 補助輪固定金具の裏側から補助輪軸をセットしてネジ穴をあわせます。



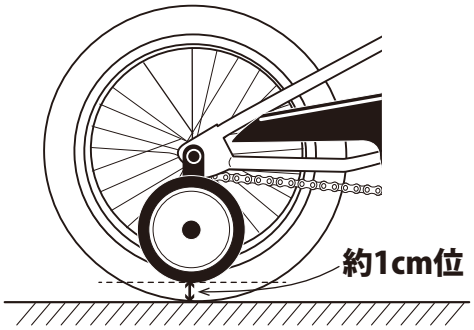
1-2 六角レンチを使って、ボトル/ワッシャーを図の順にして、補助輪を固定します。



1-3 補助輪の高さを確認してください。

補助輪の高さは地面から約1cmくらい開くように調整してください。

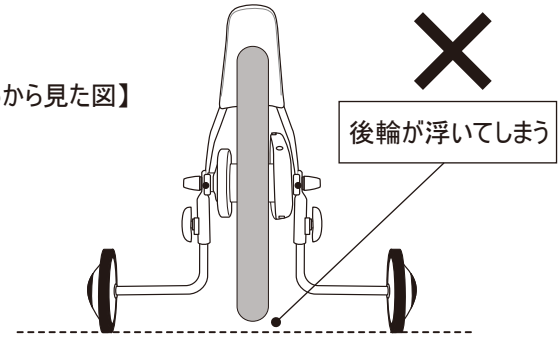
※あくまでも目安ですのでお子様にあった調整を行ってください。



⚠注意

補助輪の軸を、調整範囲の一番下に下げた状態で固定しないでください。補助輪が浮き上がり、バランスが悪くなります。そのまま走行すると大変危険ですので絶対におやめください。

【後ろから見た図】

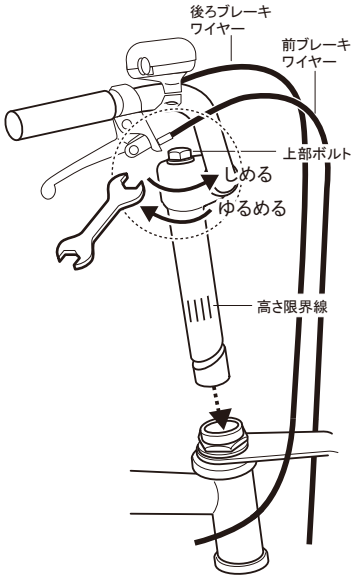


⚠注意 **この際に固定がしっかりされていないと、使用中に固定が外れてしまう恐れがあり、大変危険です。充分ご注意ください。毎回使用前に必ず固定具合を点検してください。**

2 ハンドルの取り付け

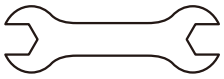
2-1 上部ボルトをゆるめ取り付け位置に差し込みますが、ハンドルから出ている２本のワイヤーがそれぞれ絡まっていたり巻きついたりしていないか確認してください。絡まりがあれば解き、巻きつきがある場合はハンドル自体を回転させるなどして解除してください。

> ⚠ 注意　ワイヤーの絡みがあるとブレーキの効きが悪くなる恐れがあります。必ず取り除いてください。



2-2 ハンドルの先端金具の断面をそろえて差し込みます。パイプに印された刻印が隠れる位置まで必ず差し込んで高さを調整します。

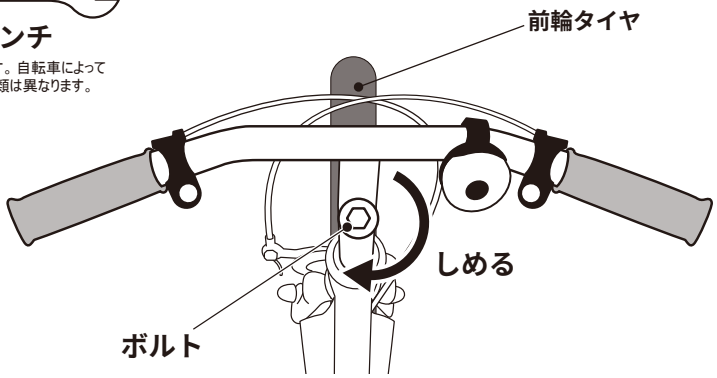
2-3 ハンドルの高さが決まりましたら、真上から見た状態でハンドルが真っ直ぐになる（ハンドルがタイヤに対して直角になる）ようにして、付属の専用レンチでボルトを右回しに強くしめてください。



レンチ

※代表図です。自転車によってレンチの種類は異なります。

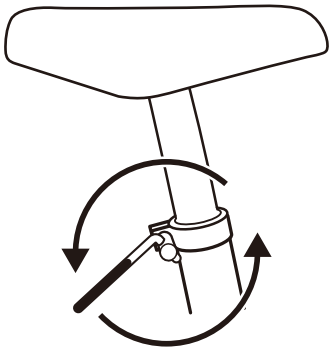
〈上から見た図〉



⚠ 注意　**この際に固定がしっかりされていないと、使用中に固定が外れてしまう恐れがあり、大変危険です。充分ご注意ください。毎回使用前に必ず固定具合を点検してください。**

3 サドルの取り付け

3-1 回転レバーを左回しにある程度ゆるめます。

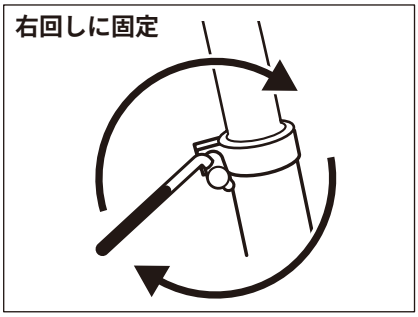


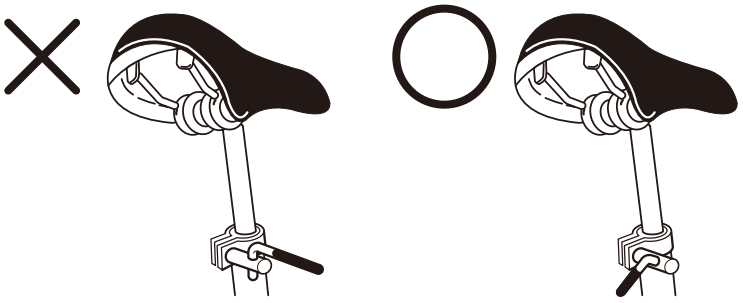
⚠ サドルがすべり落ちて手を挟まないよう、サドルを片手で持ちながら行ってください。

⚠ この際、ゆるめすぎると部品が分解し、部品の紛失につながりますので充分にご注意ください。

3-2 サドルの高さを調整しますが、シートポストに刻印されている限界線が必ず隠れるようにしてください。

3-3 回転レバーを右回しに強くしめて固定します。固定確認をし、レバーを車体内側へ向けてください。

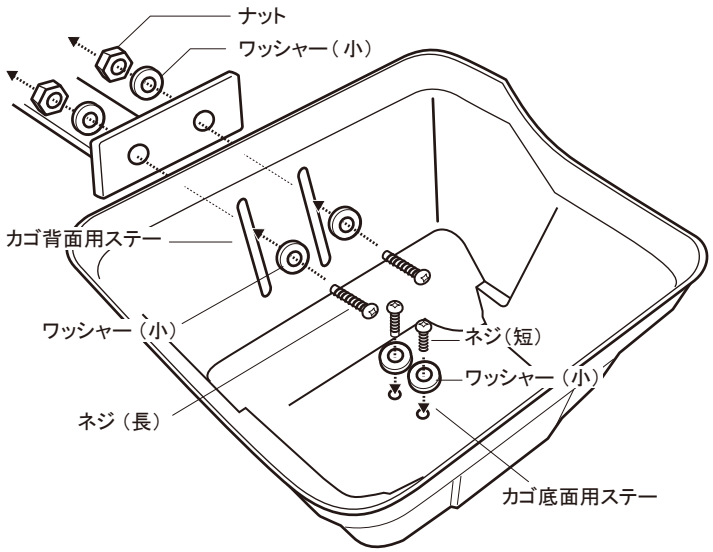




図の回転レバー位置は一例です。走行中足に当たる危険がないようレバーを内側に向けてください。

4 カゴの取り付け ※プラスドライバーが必要になります

図の順で、各部をしっかりと固定してください。



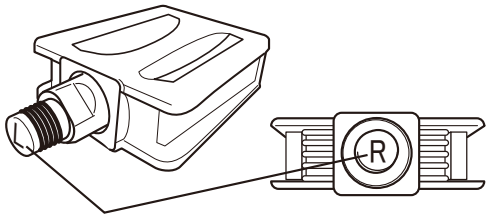
⚠注 意

- ●カゴがブレーキワイヤーを無理に押さえつけていないか確認して下さい。同時にブレーキの効き具合も確認して下さい。
- ●カゴの取り付けについては毎回乗車前にガタつきやネジの緩みがないか点検を行って下さい。

★説明イラストと実際の部品は多少異なる場合があります。

5 ペダルの取り付け

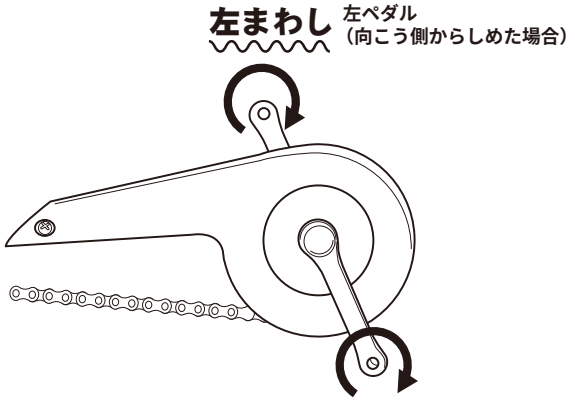
5-1 まず、ペダルの左右を確認してください。左右それぞれ刻印が違います。



それぞれ刻印が違います。

左ペダル→刻印：L
右ペダル→刻印：R

5-2 始めは手で取り付けてください。右ペダル（R）は右側へ右回しに、左ペダル（L）は左側へ左回しに、真っすぐになっていることを確認してから専用レンチでしっかりと固くしめつけてください。

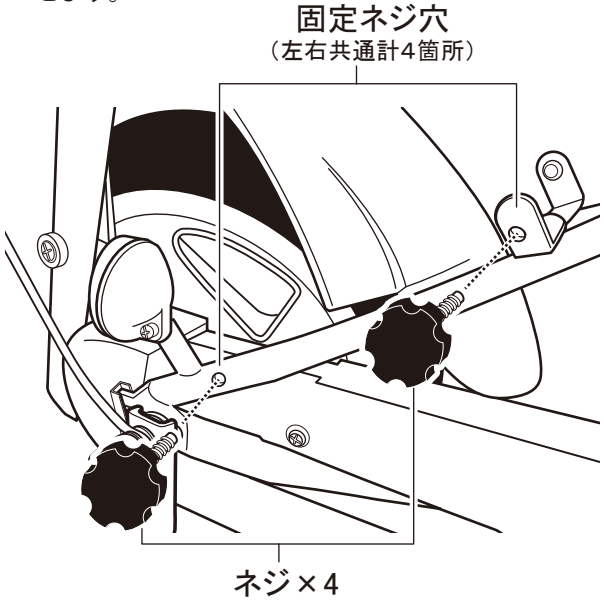


⚠注意 **きっちり締められていない場合、走行中にネジ山がつぶれペダルがとれてしまう恐れがあり大変危険です。乗車前の点検時にはこの部分も必ず点検してください。また、一旦取付けたペダルは取外さないでください。何度も取付け・取外しを行うと摩耗の原因になります。**

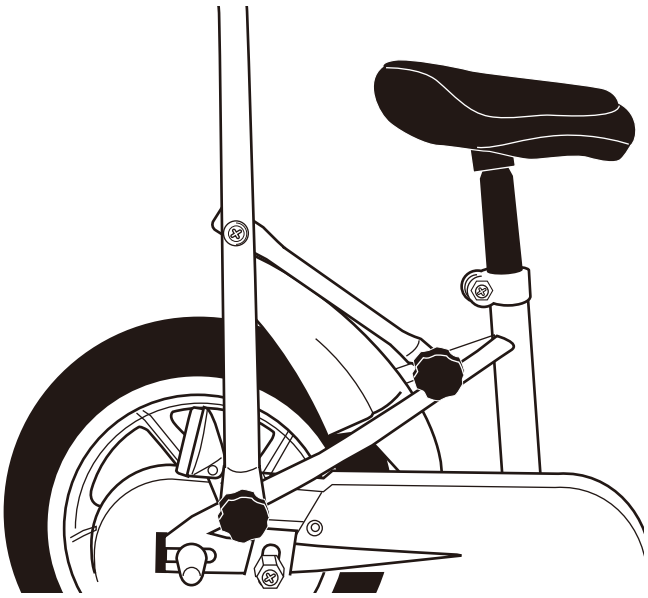
⚠注意 **この際に固定がしっかりされていないと、使用中に固定が外れてしまう恐れがあり、大変危険です。充分ご注意ください。毎回使用前に必ず固定具合を点検してください。**

6 手押しハンドルの取り付け

6-1 後輪付近の手押しハンドルの固定ネジ穴に付いているネジを外して、手押しハンドルを合わせます。



6-2 6-1のネジで手押しハンドルを固定してください。



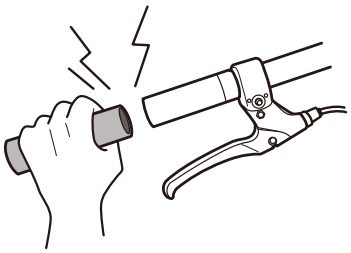
以上で組立ては完了ですが走行前には各固定部がしっかりと固定されているか
もう一度組立て注意書の各注意事項を確認してください。
必ず保護者の方が各固定部の組立て及び確認を行ってください。

●ご使用前に各注意事項を必ずお読みください●

⚠警告

■握り部のゆるんでいるものに乗らない

禁 止



⚠ 握り部の弾力性が低下し、回るものはハンドルから抜ける可能性があります。大変危険ですので至急取替えてください。

■回転部には触れない

禁 止

⚠ 前・後車輪、ギアクランク、チェーン部が動いているときは触れないでください。特に掃除中やお子様がご使用の際は、回転部に手や足を突っ込まないよう注意してください。

■保護者の方が組立・使用方法を説明した後、安全と判断された以外は絶対に使用させない

⚠ ブレーキレバーに手が完全に届かず充分操作できない場合も絶対に使用させないこと。

禁 止

⃠禁止 お子様だけで遊ばせない事!!
必ず保護者の方が立ち会う事

⚠注意 必ず保護者の方が持ち手を持ってください。

⚠注意 ⃠ 点検で異常があった時は、乗車しない
事故や転倒のおそれがあります
●異常があった時は、ＣＳセンターに相談下さい。

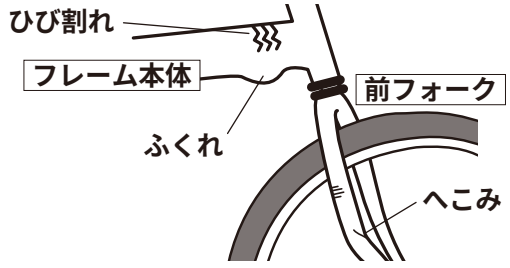
■服装について
車輪に巻き込まれやすい服装で乗らないで下さい。

ズボンの裾はズボンバンド等で止めると汚れやチェーンの巻き込み、ギアへの引っ掛かりを防ぐ事ができます。

⚠警告

ひび割れや変形したまま走行しない（転倒や衝突した場合も必ず確認してください）

禁 止



禁 止

取扱注意書

本品はお子様専用の遊戯具であり、取り扱い及び取り扱い場所を誤ると重大事故の可能性があります。使用前に保護者の方が必ず以下の禁止事項及び注意事項を十分お読みいただき、理解したうえでお子様に厳守させていただきます。（以下の禁止事項 / 注意事項を守らずに発生した事故、ケガ等については一切責任を負いかねます）
また、使用前に各部に変形・ヒビ割れなどの異常がないか必ず確認してください。

⊘ 禁止事項

●坂道では絶対に使用しないで下さい。
●本品は一人乗り用です。二人乗りは絶対禁止です。
●改造・分解などは絶対に行わないでください。
●下地が柔らかい砂地等や凸凹のある場所での使用は絶対にやめてください。（タイヤが取られ転倒、激しい衝撃による破損や怪我の可能性があります。ご使用は平坦で凸凹のないしっかりした地面に限定してください）
●火気及び高温の場所での使用、保管はおやめ下さい。破損、発火の恐れがあります。

⚠ 注意事項

●ご使用になる前に、必ず保護者の方が点検をしてください。
●ご使用になるお子様の両足が、座部に腰掛けた状態で完全に地面につくことを確認してください。
●使用時については必ず保護者の方が立ち会い危険がないか指導及び目配りをして下さい。また保護者の方の目の届く範囲で使用してください。
●ぞうり・サンダルなどの履物を履いての乗車は絶対におやめ下さい。
●マフラー／スカートなど、ハンドル・レバー・ペダル・車輪などに引っ掛かる可能性のある服装での乗車はおやめください。
●使用、保管に限らず、野外で雨ざらしにしたり、水をかけたりしないでください。また、水溜りでのご使用はおやめ下さい。故障や破損の原因になります。
●室内でのご使用はお避けください。床などが傷つく場合があります。
●保管の際は、雨水のかからない乾燥した場所で保管してください。
●お手入れは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞って汚れを拭き取ってください。拭き取ったあとは必ず乾燥させてください。
●サビには市販のサビ止めなどを用いると有効的です。
●本品を投げる、落とすなどして、強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
●本品に異常を感じた際は直ちに使用を中止し、販売店もしくは当社宛にご相談ください。
●オフロードでの走行は禁止されています。この自転車は山岳・荒地・砂地などのオフロードでは使用できません。車体の強度・寸法・部品の強度・品質などは平坦地の通常走行用に設計されていま

標準適用体格	1.初心者及びお子様は、サドルに腰をおろした時、両足が確実に地面につくこと 2.サドルに腰をおろし、ペダルに余裕があり片足が確実に地面につくこと 3.ブレーキレバーを余裕をもって握る事ができること

・14インチは、身長 90cm以上を対象として作られています。
・16インチは、身長 95cm以上を対象として作られています。
・18インチは、身長105cm以上を対象として作られています。

保護者様へ

年齢が４才から小学校低学年の６才頃までの子供は発育途上で体力、握力脚力が弱く判断力や反射神経も未熟です。お子様が一人で乗るときは、次の注意事項に注意するように教えてください。

①ブレーキのかけ方を使用するお子様によく教えてください。
②ブレーキの効きが悪いときは乗らずに修理してもらってください。
③ブレーキは両方（左右）かけてください。
④下り坂ではブレーキの効きが悪くなる場合があるので、自転車から降りて歩いてください。
⑤自転車を乱暴に扱ったり倒したりしないでください。
⑥油のついた布切れでリムの掃除をしたり、ブレーキシューに油をつけないでください。

万一、不明な点や異常な箇所がありましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ窓口 **support@gbn.co.jp**

お客様窓口受付時間／月曜～金曜 １３:００～１７:００
（土・日・祝日･盆休み･年末年始を除く）

株式会社ジ・ビー・エヌ 〒559-0021大阪市住之江区柴谷1-1-40

本誌の記載内容の無断掲載、複写、転載を禁じます。